



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1157 2019年2月4日

ARIBからのお知らせ

2018年度会員懇談会のお知らせ

2018年度会員懇談会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

ARIB 会員相互や、総務省など関係機関・団体の方々との懇談の場としてご利用いただきたく、多くの会員会社の皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 1 日時 2019年2月21日(木) 午後5時10分から6時40分まで
- 2 場所 ホテルニューオータニ 鳳凰の間 (ガーデンタワー宴会場階)
千代田区紀尾井町4-1 (電話 03-3265-1111) <http://www.newotani.co.jp/tokyo/>

【問合せ先】

一般社団法人電波産業会 総務部 春原又は平野
東京都千代田区霞が関1-4-1

電話：03-5510-8590 E-mail：n-sunohara@arib.or.jp

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに3件の英語翻訳版を公開しました。

【放送分野】

規格番号等	標準規格名等
STD-B63	1.7 版
	高度広帯域衛星デジタル放送用受信装置 標準規格 (望ましい仕様) Receiver for Advanced Wide Band Digital Satellite Broadcasting ARIB Standard (Desirable Specifications)

TR-B36	1.1 版	超高精細度テレビジョン番組制作用ディスプレイの色域包含率計算法 技術資料
		Metric of Color-Space Coverage of UHDTV Displays for Program Production ARIB Technical Report
TR-B41	2.0 版	テレビジョンカメラシステムの解像度特性測定法 技術資料
		Measurement Methods for Resolution Characteristics of Television Camera Systems ARIB Technical Report

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものです。正本と翻訳版との間に内容、表現等に何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIBの動き

5G スペクトラム・アジア地域ワークショップを開催

第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）並びに一般社団法人電波産業会（ARIB）が主催し、総務省が協力・支援した「5G スペクトラム・アジア地域ワークショップ」が2019年1月28日にARIBにおいて開催されたので、その概要をご報告いたします。なお、本ワークショップは、5GMF アジアキャラバンの一環として開催されたものです。

1. 会合名：5G スペクトラム・アジア地域ワークショップ
-Asian region Workshop on 5G spectrum-
2. 主催：5GMF/ARIB
3. 協力・支援：総務省
4. 日時：2019年1月28日（月）14:00-17:00
5. 場所：ARIB 会議室
6. 出席者：主管庁の周波数担当者、オペレータ、大学関係者等

アジア5か国・地域のタイ、トルコ、マレーシア、インドネシア、台湾から、主管庁の幹部及び周波数担当者、通信事業者、大学・研究機関等から25名が参加しました。

日本からは、総務省新世代移動通信システム推進室長の中里氏、5GMFの技術委員会無線技術部会副部会長のエリクソン・ジャパン 本多氏、KDDI 今田氏、NTTドコモ 新氏並びに5GMF事務局の佐藤・大村・近田・近藤の8名が参加しました。

7. 概要：

本ワークショップは、主催・協力・支援の代表者からの Opening Remarks、Welcome Remarks、Keynote Address に続いて、5G に関する日本での共用検討や干渉軽減対策の検討状況の講演と質疑応答が行われました。

1) 歓迎の挨拶

5GMF 事務局長の佐藤氏から ARIB、5GMF、講演者、アジア地域からの参加者はじめ関係者の協力に感謝する開会のご挨拶がありました。

2) Welcome Remarks

総務省の中里氏から日本での制度整備の状況、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けたロードマップ等を含めたご挨拶がありました。

3) Keynote Address

エリクソン・ジャパンの本多氏から、“Spectrum Study in 5GMF”と題して、5GMFにおける5G周波数の検討状況等に関するご説明がありました。

4) 技術講演

KDDI 今田氏、NTT ドコモ 新氏からプレゼンテーションがありました。

- 今田氏：Summary of activities of ITU-R Task Group 5/1
- 新氏：Sharing and compatibility studies for 5G spectrum allocation in Japan

5) Q&A

アジア地域からの出席者から「28GHz帯についての固定業務との共用について」等の多数の質問があり、講演者との間で活発な質疑応答が行われました。

6) Wrap-up and Closing

5GMF 事務局長の佐藤氏から、今回のワークショップを通じて、日本の周波数割当、共用検討状況がアジア地域からの参加者に共有されたこと、更に今後のアジア地域のキーパーソンによる連携に活かしてほしいとの話がありました。また、5GMFは今後もアジアキャラバンを通じて、アジア地域とのコラボレーションを推進していくことが表明されました。



ワークショップ参加者集合写真



ワークショップの様様



中里 学氏
総務省



本多 美雄氏
エリクソン・ジャパン



今田 諭志氏
KDDI



新 博行氏
NTTドコモ

今週の ARIB 内会合 (2月4日~2月8日)

- 2月5日(火): スタジオ設備開発部会 HDR 番組制作・運用 AdHoc
- 2月6日(水): 高度無線通信研究委員会 運営委員会第15回会合

今週の国際会合 (2月4日~2月8日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

電波資源の拡大に資する新たな研究開発課題の提案募集

【平成31年1月31日発表】

総務省では、近年の通信量増大に伴う周波数需要の拡大による周波数の逼迫状況を緩和し、新たな周波数需要に的確に対応するため、電波有効利用の推進を目的とした「電波資源拡大のための研究開発」を実施しています。

今般、電波資源の拡大に資する新たな研究開発課題の提案を広く求め、2020年度から新たに実施する研究開発課題の選定に関する基礎資料とすることを目的として、2019年2月1日(金)から同年3月29日(金)までの間、提案募集を行っています。

詳細については [【平成31年1月31日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

無線設備規則等の一部を改正する省令案等に係る意見募集
— 高周波領域における電波防護指針の改定等に伴う制度整備 —

【平成 31 年 1 月 31 日発表】

総務省では、電波の人体への影響について、人体に影響を及ぼさない電波の強さの指針値等を「電波防護指針」として定め、その指針値の一部を電波法令による規制として導入することにより、我が国における電波利用の安全性を確保しています。

携帯電話端末等の無線設備に関する技術の進展に伴い、2020年にサービス実現が期待されている第5世代移動通信システム（5G）をはじめ、6GHzを超える周波数帯を利用する無線設備が人体の近くで使用されることが想定されています。

我が国では、6GHzを超える周波数帯において、人体の近くで使用される携帯電話端末等の無線設備が発射する電波から人体を防護するための指針値及び評価方法が規定されていないことから、国際的な動向も踏まえつつ、最新の科学的知見に基づいた適切な人体の防護を確保する必要があります。

そのため、平成30年9月、情報通信審議会において「高周波領域における電波防護指針の在り方」について一部答申がなされ、6GHzを超える周波数帯においては、入射電力密度による指針値を適用することとされました。

さらに、平成30年12月、諮問第2042号「携帯電話端末等の電力密度による評価方法」のうち「携帯電話端末等の電力密度の測定方法等」について一部答申がなされ、6GHzを超える周波数帯の電波を発射する携帯電話端末等について測定方法が報告されました。

今般、これらを踏まえた制度整備を行うため、無線設備規則等の一部を改正する省令案等を作成し、当該省令案等に対して、2019年2月1日（金）から同年3月4日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【平成 31 年 1 月 31 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp